

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより令和5年度

令和5年9月29日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

世界へ発信 貝取小学校の教育活動

秋分の日が過ぎて彼岸花が咲く季節を迎えていますが、気温はまだすぐには下がらない様子です。

コロナやインフルエンザなどの感染症は流行が収まることなく、心配な状況です。今学期は、水泳指導や学校公開のほか、校外学習や展覧会などの学校行事が続きます。貴重な機会に体調を崩してお休みすることがないように、子供たちの体調管理へのご協力をよろしくお願いいたします。

9月19日(火)、20日(水)には、エジプトにある国立の日本式学校(エジプト日本学校)の教員約40名と通訳者、研修スタッフのみなさん総勢約60名が貝取小学校に来校しました。日本での日常の学校生活を参観し、その特色について学び、エジプトでの指導に生かすための研修です。

5月にもエジプトからの視察団を招いた経験から、子供たちはエジプトの言葉で挨拶を交わしたり、一緒に遊んだりして交流を深めることができました。授業参観を終えたエジプト教員たちからは、「とても親切で優しい子供たちですね。」「先生たちの指導が丁寧で、子供一人一人を大事にしています。」というコメントをいただきました。貝取小学校の学校生活が参考となり、各教員が学んだことがエジプト国内の各学校に広められることとなります。引き続き国際交流の輪を広げてまいります。



本校では、「きょうだい班活動」を通して異年齢交流の実践を重ねてきました。

きょうだい班は1・6年生、2・5年生、3・4年生がペアになり、混合の小グループに分かれます。主に上学年がリードして遊びや話合いなどを通して交流し、異年齢間の人間関係を深める活動です。

本日、全校児童が歩いて近隣の貝取北公園まで出かけて、きょうだい班ごとに交流しました。

事前に決めた遊びを上学年が中心となって進行し、楽しく充実した時間を過ごしました。広々とした公園での活動は、校庭での活動よりも元気よく、思い切って走り回ったり、大声で笑ったりする姿がたくさん見られました。すべての学年が1クラスであるために、異年齢の交流は豊かな人間関係を育む絶好の機会です。今後も活動の内容を工夫し、貝取小学校のよき伝統を築いてまいります。